主な仕様

受信周波数

AMステップ	AM	FM
国内専用	522-1629 kHz	76.0-90.0 MHz(TV1-3ch)
10 kHz	520-1710 kHz	87.5-108.0 MHz
9 kHz	522-1629 kHz	87.5-108.0 MHz

トラック方式　：ステレオ
周波数範囲（ノーマル、ハイ、メタルポジション）
：40－18000 Hz (EIAJ)
出力端子
ヘッドホン　：15 Ω（M3ジャック）
実用最大出力　：8.5 mW+8.5 mW (EIAJ)
電源
乾電池　：DC 1.5 V（単3形乾電池×1本）
寸法
最大外形寸法　：81.9 (W)×116.8 (H)×29.7 (D) mm (EIAJ)
本体寸法　：81.1 (W)×111.3 (H)×28.5 (D) mm
質量　：約200 g（乾電池含む）
電池持続時間(EIAJ)

使用電池	テープ再生時	ラジオ受信時
ナショナルネオ（黒）乾電池(R6PU)	約11時間	約12時間30分
パナソニックアルカリ乾電池(LR6)	約28時間	約32時間

電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

＜無料修理規定＞

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示いただきお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご提示がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

ステレオラジオカセットプレーヤー
Stereo Radio Cassette Player
取扱説明書
Operating Instructions

品番　RQ-SW09V

このたびは、ステレオラジオカセットプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付き　上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RQ-SW09V
販売店名	☎（　）　－		

松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Audio Division
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505

RQTT0296-1S　F0799KB1109 (D)

Panasonic　持込修理

パナソニック音響製品保証書

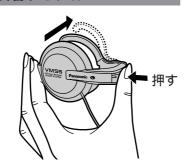
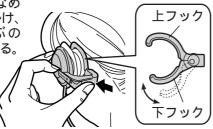
本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書左面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は左面をご参照ください。

品番	RQ-SW09V
保証期間	お買い上げ日から **本体1年間**
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電話（　）　－
※販売店	住所・氏名 電話（　）　－

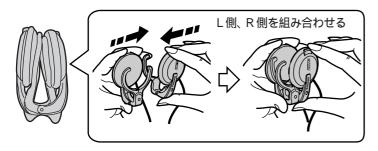
松下電器産業株式会社　オーディオ事業部
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 6909-1021

ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

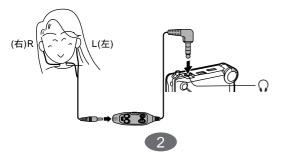
付属品の確認

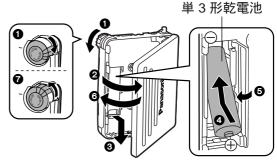
- クリップヘッドホン (シルバー : RFEV801P-S1S)
  (ブラック : RFEV801P-HS)
- リモコン (RFEV032P-KS)
- 単 3 形乾電池、1 本
- キャリングケース (RFC0056-K)

付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。かっこ内は品番です。

クリップヘッドホンを装着するには

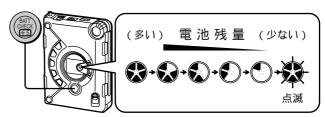
①図のように手に持ち、クリップ部を広げる。

②上フックを後方ななめ上から上耳に引っかけ、下フックを耳たぶの裏側に当て、固定する。

クリップヘッドホンの収納について

①L 側、R 側のクリップ部分を互いに交差させ、組み合わせる。

②コードを右図のように巻き、先端部分は L 側と R 側の間にはさむ。

ただし、コードはあまり強く巻かないようにしてください。

リモコンとヘッドホンを接続する

プラグは奥までしっかりと差し込んでください。差し込みがゆるいと音が鳴ってもリモコン操作ができません。

乾電池の入れかた

付属の単 3 形乾電池（1 本）を ⊕⊖ を確かめて、正しく入れます。

充電式電池をお使いの時には、Panasonic の充電式電池をおすすめします。

電池残量表示について

テープ操作中、またはラジオの電源を入れると表示します。

■ 表示が点滅しているときは

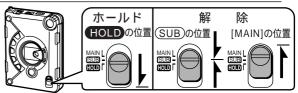
乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。また、乾電池の交換は約 30 秒以内に行ってください。交換に時間がかかると本機に記憶させた内容（メモリー）が消去されます。

- **点滅したまま使い続けると**
  ディスプレイに"E."が表示されます。

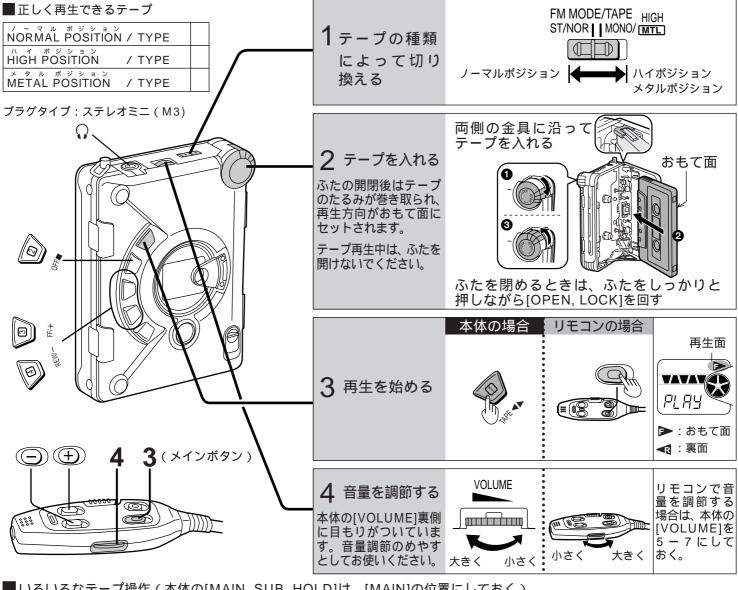
■ 停止中に残量を表示させるには

[BATT CHECK, +5]を押す。インジケーターが二周スクロールした後、電池残量を約 5 秒間表示します。

ホールド機能

本体表面のボタンが誤って押されても、操作を受け付けないようにする機能です。（側面のボタンは受け付けます。）

次のようなことを防ぎます。
- 知らない間に電源が入る。（電池が消耗する）
- テープの誤操作。
- ラジオ受信が中断する。
- 聞いていたラジオの周波数が変わる。

本体とリモコンのホールド機能は、別々に働きます。

[MAIN]、[SUB]の位置でボタンの働きが変わります。どちらに合わせるかは各操作の手順をご覧ください。

■ 表示パネルに" "が点灯しているときは

本体がホールド状態になっていることをお知らせしています。操作ボタンを押すと、点滅します。

テープを聞く

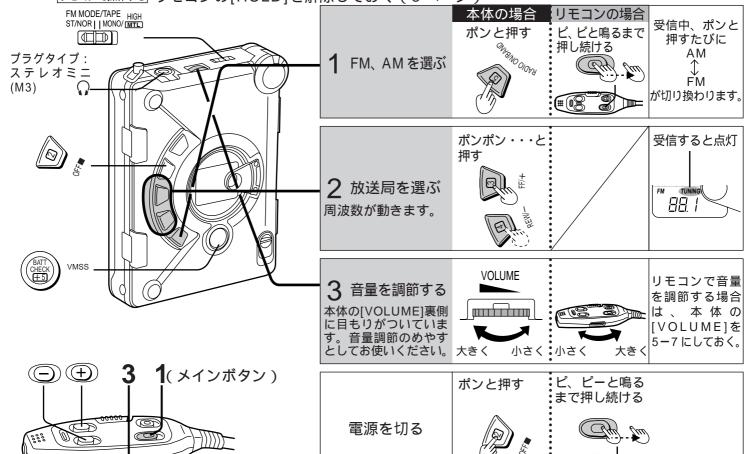
準備：リモコンとヘッドホンをつないで、[🎧]端子に接続しておく（2 ページ）
本体で操作する 本体の[MAIN, SUB, HOLD]を[MAIN]の位置にしておく（3 ページ）
リモコンで操作する リモコンの[HOLD]を解除しておく（3 ページ）

■**いろいろなテープ操作**（本体の[MAIN, SUB, HOLD]は、[MAIN]の位置にしておく）

	演奏を止める	早送り、巻戻しする	曲の頭出し(TPS[※1])	反対面を聞く
本　体	再生中にポンと押す	停止中にポンと押す 進む 戻る	再生中にポンポンと押す（1 回から 3 回まで） 進む 戻る	再生中にポンと押す
リモコン	再生中にポンと押す	停止中にポンと押す 進む 戻る	再生中にポンポンと押す（1 回から 3 回まで） 進む 戻る	再生中にピ、ピと鳴るまで押す

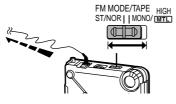
●**途中で再生に切り換えるには**
[**1, TAPE ◀▶**]（本体）またはメインボタン（リモコン）をポンと押す。

■**オートリバースについて**
テープ終端で反転して動作を続けますが、終端を 3 回検出すると自動的に停止します。

※1 **Tape Program Sensor**（テープ プログラム センサー）
ボタンを押した回数だけ曲をとび越し、再生を始めます。(前後 3 曲まで)
この機能は、曲間の約 3 秒間の無音部を検出して働きます。そのため、次のような場合には正しく働かないことがあります。
- 曲間が短い
- 曲間に雑音がある
- 曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

準備：リモコンとヘッドホンをつないで、[🎧]端子に接続しておく（2 ページ）
本体で操作する **本体の[MAIN, SUB, HOLD]を[MAIN]の位置にしておく（3 ページ）**
リモコンで操作する **リモコンの[HOLD]を解除しておく（3 ページ）**

	本体の場合	リモコンの場合	
1 FM、AM を選ぶ	ポンと押す	ピ、ピと鳴るまで押し続ける	受信中、ポンと押すたびに AM ↕ FM が切り換わります。
2 放送局を選ぶ 周波数が動きます。	ポンポン・・・と押す		受信すると点灯
3 音量を調節する 本体の[VOLUME]裏側に目もりがついています。音量調節のめやすとしてお使いください。	大きく　小さく	小さく　大きく	リモコンで音量を調節する場合は、本体の[VOLUME]を5ー7にしておく。
電源を切る	ポンと押す	ピ、ピーと鳴るまで押し続ける	

⊖ ⊕ 3 1（メインボタン）

よりよい受信のために

■アンテナの調整

● **FM、TV 放送**
ヘッドホンのコードを束ねずに、できるだけ伸ばす。（コードがアンテナとして働きます）

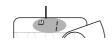
● **AM 放送**
本体の向きを調整する。（内蔵のフェライトアンテナが働きます）

■FM ステレオ放送で雑音が多いとき

[FM MODE/TAPE]を[MONO]にすると、音声はモノラルになりますが、雑音が減って聞きやすくなります。通常は[ST]にしておくと、FM ステレオ放送のとき、ステレオ音声でお楽しみいただけます。（TV、AM 放送は、つまみの位置に関係なくモノラル音声です）

お知らせ
- 乗り物や建物の中では電波が弱まり、聞きにくくなることがあります。できるだけ窓側でお聞きください。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3 チャンネルに、FM が混信することがあります。

放送局を記憶させて聞く

放送局を記憶させておくと、選局が簡単になります。AM、FM 各 10 局ずつ、計 20 局を記憶させておくことができます。

■放送局を記憶させるには（本体操作のみ）

● **1 から 5 のメモリーチャンネルを選ぶ**
1. 記憶させたい放送局を受信する。
2. [MAIN, SUB, HOLD]を[SUB]にする。（3 ページ、ホールド機能参照）
3. チャンネル指定ボタン（[1]〜[5]）のひとつを、「ピピピ」と鳴るまで約 2 秒間押し続ける。

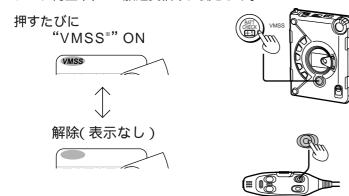
● **6 から 10 のメモリーチャンネルを選ぶ**
1. [BATT CHECK, +5]を押す。
2. 10 秒以内にチャンネル指定ボタンを「ピピピ」と鳴るまで約 2 秒間押す。

例） メモリーチャンネル 7 を選ぶ
[BATT CHECK, ＋5]をポンと押したあと、[2]を「ピピピ」と鳴るまで約 2 秒間押す。

■記憶させた放送局を聞く

（本体の場合）
1. ラジオ受信中に、[MAIN, SUB, HOLD]を[SUB]にする。
2. チャンネル指定ボタン（[1]〜[5]）をポンと押す。

● **6 から 10 のメモリーチャンネルを選ぶには**
1. [BATT CHECK, +5]を押す。
2. 10 秒以内にチャンネル指定ボタンをポンと押す。

（リモコンの場合） ラジオ受信中に[+]または[−]を押す。

お知らせ
- [BATT CHECK, +5]を押すと、約 10 秒間"+5"が表示されます。（表示中にもう一度押すと、消えます）
- 電源を切るとき、または FM、AM を切り換えるときは、[MAIN, SUB, HOLD]を[MAIN]に戻してください。

重低音をきかせる

テープ再生中、FM 放送受信中に働きます。

※VMSS(Virtual Motion Sound System)機能で、体感サウンドを楽しむことができます。（重低音に合わせてヘッドホンが振動します）

■VMSS をより効果的に使うには

1. 本体の[VOLUME]を目もり 7 以上の位置に合わせる。
2. リモコンの[VOL]で好みの音量に合わせる。

- ヒップホップ音楽などの、低音が強調されたミュージックテープを使うと、より効果的なサウンドがお楽しみいただけます。
- 音がひずむときは、本体の音量を下げてください。

お知らせ

- VMSS は、音源によっては効果が現れないものがあります。
- ヘッドホンのプラグは奥まで差し込んでください。（確実に差し込んでいないと、音は聞こえても VMSS は働きません。）
- VMSS の効果をお楽しみいただくには、付属のヘッドホンまたは別売りの VMSS 対応ヘッドホンをお使いください。
- インサイドホン（別売り）使用時に VMSS を働かせると、音がひずむことがあります。音量を下げるか、VMSS を解除してください。

海外で聞くには

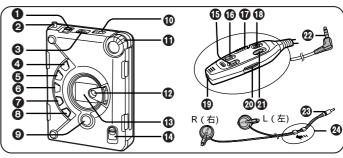
地域によって、受信周波数ステップが異なります。海外で使用するときは、ステップを切り換えてご使用ください。

■ステップを切り換えるには（本体操作のみ）

1. ラジオ受信中に、[MAIN, SUB, HOLD]を[MAIN]にする。
2. [BATT CHECK, +5]を押している間に、[5, RADIO ON/BAND]を約 3 秒間押し続ける。

- 切り換わったステップが、FM、AM の順に表示されます。

手順 2 の操作を繰り返すたびに、ステップが次のように切り換わります。

FM 0.1 MHz、AM 9 kHz
（日本）
↓
FM 0.1 MHz、AM 10 kHz
（北米、中南米、東南アジアの一部）
↓
FM 0.05 MHz、AM 9 kHz
（東南アジア、ヨーロッパ）

ステップを切り換えると、放送局の記憶内容は消えます。

海外ステップのときは

- TV 受信ができません。
- FM、AM とも受信周波数帯域が変わります。

各部のなまえ

① 🎧（ヘッドホン兼リモコン用）端子
② ハンドストラップ（市販）取り付け用金具
③ **VOLUME**（音量）つまみ
④ **1, TAPE ◀▶**（再生、走行方向切換、チャンネル指定）ボタン
⑤ **2, OFF ■**(停止、ラジオ「切」、チャンネル指定)ボタン
⑥ **3, FF/＋**（早送り、頭出し、進む、チャンネル指定）ボタン
⑦ **4, REW/－**（巻戻し、頭出し、戻る、チャンネル指定）ボタン
⑧ **5, RADIO ON/BAND**（ラジオ「入」、バンド切換、チャンネル指定）ボタン
⑨ **BATT CHECK,＋5, VMSS**（電池残量確認、音質切換、チャンネル指定補助）ボタン
⑩ **FM MODE/TAPE**（FM モード/テープ切換）つまみ
⑪ **OPEN, LOCK**（カセットふたロック）つまみ
⑫ 電池残量表示パネル
⑬ 表示パネル
⑭ **MAIN,SUB,HOLD**（本体用ホールド切換）つまみ
⑮ －(巻戻し、頭出し、戻る)ボタン
⑯ ＋(早送り、頭出し、進む)ボタン
⑰ **HOLD**（リモコン用ホールド）つまみ
⑱ 音質切換ボタン
⑲ ヘッドホン用端子
⑳ **VOL**（音量）つまみ
㉑ メイン（再生、停止、走行方向切換、ラジオ「入」「切」）ボタン
㉒㉓ プラグ
㉔ スライダー（使わないときは、から み防止のため移動させてください。）

Operating Instructions

Tape playback

1. Set ⑭ to [MAIN] or release hold ⑰.
2. Set ⑩ to match the type of tape.
3. Insert the tape.
4. Press ④ or the main button ㉑.
5. Adjust the volume ③ or ⑳.

Auto reverse
Unless ⑤ is pressed, the unit plays 3 sides of the tape and then automatically stops.

To stop playback
Press ⑤ or the main button ㉑.

To change sides
Press ④ or press and hold the main button ㉑.

To wind the tape
Press ⑥ (fast forward) or ⑦ (rewind) in the stop mode.

Tape Program Sensor
You can skip as many programs as the number of times (up to 3) the button is pressed.
Press ⑥ (fast forward) or ⑦ (rewind) during playback.

To boost the low frequency range
While playing the tape or FM with ⑭ to [MAIN], press ⑨ or ⑱.
If sound distortion occurs turn down the volume.

Listening to the radio

1. Set ⑭ to [MAIN] or release hold ⑰.
2. Press ⑧ or press and hold the main button ㉑.
3. Press ⑥ or ⑦ to select the desired station.
4. Adjust the volume ③ or ⑳.

To turn the radio off
Press ⑤ or press and hold the main button ㉑.

Preset tuning
20 stations can be stored: FM1–10, AM1–10

Memory presetting
(Available only from the main unit)
1. Tune in a station to be stored.
2. Set ⑭ to [SUB].
3. Press and hold one of the memory buttons (④-⑧) for about 2 seconds.

- To select a memory channel from 6 to 10

1. Press ⑨.
2. Within 10 seconds, press and hold one of the memory buttons (④-⑧) for about 2 seconds.

To recall a preset station
(From the main unit)
1. Set ⑭ to [SUB].
2. Press a memory button(④-⑧).

(From the remote control)
Press ⑮ or ⑯.

- To recall a memory channel from 6 to 10

1. Press ⑨.
2. Within 10 seconds, press one of the memory buttons (④-⑧).

To obtain better reception
AM: Try various directions to obtain optimum reception.
FM: Extend the earphone cord.
To receive FM stereo reception, set ⑩ to [ST]. If the reception is poor, set to [MONO].

How to adjust the allocation settings (available only from the main unit)
1. While playing the radio, set ⑭ to [MAIN].
2. While pressing ⑨, press and hold ⑧ for about 3 seconds.

The changed allocation settings (FM and then AM) are displayed.
Converting the allocation erases the stations previously stored in memory.

安全上のご注意

必ずお守りください。

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

乾電池について

注意

■以下のことを守り正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**

- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

本機について

警告

■分解、改造しない

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

■自動車やバイク、自転車などの運転中は、使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。

注意

■異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

使用上のお願い

機器の故障防止のために

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 水、砂、ほこりの付近ではカセットふたを開けないでください。
- 風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多いところで使わないでください。
- 雨にぬらさないでください。

ステレオヘッドホンについて

- 周囲の人の迷惑にならない程度の音量でお楽しみください。
- 本体にコードを巻き付けるときは、たるみを持たせてゆるく巻いてください。

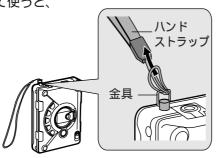
使用テープについて

■100分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります。）

■エンドレステープはオートリバース対応のものを

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。
必ずテープについている使用説明書をお読みください。

別売り品のご紹介

■より大きく、良い音で聞く

ステレオミニスピーカーを本体の[🎧]端子に接続します。
- RP-SP15/RP-SP18
- アンプ内蔵スピーカー RP-SP70（音を増幅します。本体の音量を5-7程度に）

■ジョイントホンの買い替えは

①インサイドホン
- RP-HJ237（レギュラーサイズ）
- RP-HJ335（新ピッタリホン）
- RP-HJ333（スモールサイズ）

②ヘッドホン
- RP-HZ29（オープンエアー型）
- RP-HZ60（折りたたみ式）
- RP-HZ910
（VMSS対応クリップヘッドホン）

■ハンドストラップ（市販）を取り付けるには

本機には、ハンドストラップ取り付け用金具がついています。ハンドストラップ（市販）を取り付けて使うと、携帯に便利です。

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布で拭いてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布で拭き、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

テープの音をよい音でお楽しみいただくために

定期的にクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

故障かな！？

まず、下表でご確認ください。
直らないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

こんなときは	ここをチェック
動かない。	●電池の⊕と⊖を逆に入れていませんか？ ●電池が消耗していませんか？ ●本体の[MAIN, SUB, HOLD]の位置は正しい位置に合わせていますか？ ●ホールドになっていませんか？
リモコンが正常に操作できない。	●電池の⊕と⊖を逆に入れていませんか？ ●電池が消耗していませんか？ ●本体の[MAIN, SUB, HOLD]の位置は正しい位置に合わせていますか？ ●ホールドになっていませんか？ リモコン、インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（確実に入っていないと、音は聞こえても VMSS は働きません。）
聞こえない。VMSSが働かない。	リモコン、インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？（確実に入っていないと、音は聞こえても VMSS は働きません。） 音量を適当な大きさに合わせていますか？（VMSSを効果的に使うには、本体の[VOLUME]を目もり7以上の位置にし、リモコンで音量を調節してください。） プラグが汚れていませんか？
ジャリッ！と音がする。	プラグが汚れていませんか？
動作中にボタンを押しても操作を受け付けない。	使用中の電池を取り出し、入れ直してください。
雑音が入る。	携帯電話と本機を近づけてお使いのときは、携帯電話から本機を離してください。

保証とアフターサービス

よくお読み下さい

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（表紙の下をご覧下さい）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■修理を依頼されるとき

13 ページの「故障かな!?」に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ステレオラジオカセットプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
（この期間は通商産業省の指導によるものです。）
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル／パナソニック お客様ご相談センター

☎ 0120-878-365（パナは 365日）

フリーダイヤル（料金無料）365日／受付9時～20時

International Customer Care Center
ナショナル／パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)
海外仕様商品(輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品)についてのご相談は....

TOKYO ☎ (03)3256-5444　OSAKA ☎ (06)6645-8787

ナショナル／パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

窓口	電話	所在地
札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭川	☎ (0166)31-6151	旭川市2条通21丁目左1号
帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西19条南1丁目7-11
函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）

東北地区

窓口	電話	所在地
青森	☎ (0177)39-9712	青森市大字八ッ役字矢作1-37
秋田	☎ (018)826-1600	秋田市御所野湯本2丁目1-2
岩手	☎ (019)639-5120	盛岡市羽場13地割30-3
宮城	☎ (022)375-2512	仙台市泉区市名坂字清水端59-2
山形	☎ (023)641-8100	山形市流通センター3丁目12-2
福島	☎ (0243)34-1301	福島県安達郡本宮町字南/内65

首都圏地区

窓口	電話	所在地
栃木	☎ (028)689-3321	宇都宮市御幸町194-20
群馬	☎ (027)352-1217	高崎市萩原町沖中205-18
水戸	☎ (029)225-0119	水戸市柳河町309-2
つくば	☎ (0298)64-8090	つくば市花畑2丁目8-1
埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千葉	☎ (043)208-6011	千葉市中央区星久喜町172
船橋	☎ (047)334-5111	船橋市本中山6丁目11-7
柏	☎ (0471)63-8905	柏市北柏1丁目6-6
東京	☎ (03)5477-9780	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山梨	☎ (0552)22-5171	甲府市下飯田2丁目1-27
神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新潟	☎ (025)286-7725	新潟市東明1丁目8-14

中部地区

窓口	電話	所在地
石川	☎ (076)294-2683	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80
富山	☎ (0764)32-8705	富山市寺島1298
福井	☎ (0776)54-5606	福井市開発4丁目112
長野	☎ (0263)58-0073	松本市大字笹賀7600-7
静岡	☎ (054)287-9000	静岡市西島765
名古屋	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岡崎	☎ (0564)55-5719	岡崎市岡町南久保28
岐阜	☎ (058)323-6010	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30
高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三重	☎ (059)255-1380	久居市森町字北谷1920-3

近畿地区

窓口	電話	所在地
滋賀	☎ (077)582-5021	守山市勝部町6丁目2-1
京都	☎ (075)672-9636	京都市南区上鳥羽石橋町20-1
大阪	☎ (06)6359-6225	大阪市北区本庄西1丁目1-7
奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市椎木町404-2
和歌山	☎ (0734)75-1311	和歌山市中島499-1
兵庫	☎ (078)272-6645	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6

中国地区

窓口	電話	所在地
鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松江	☎ (0852)23-1128	松江市西津田2丁目10-19
出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡山	☎ (086)292-1162	岡山県都窪郡早島町矢尾807
広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音8丁目13-20
山口	☎ (0839)86-4050	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23

四国地区

窓口	電話	所在地
香川	☎ (087)868-9477	高松市勅使町152-2
徳島	☎ (0886)98-1125	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108
高知	☎ (0888)66-3142	南国市岡豊町中島331-1
愛媛	☎ (089)971-2144	松山市土居田町750-2

九州地区

窓口	電話	所在地
福岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市本庄町大字本庄896-2
長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1949-1
大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮崎	☎ (0985)85-6530	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2
熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天草	☎ (0969)22-3125	本渡市港町18-11
鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大島	☎ (0997)53-5101	名瀬市矢之脇町10-5

沖縄地区

窓口	電話	所在地
沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0699